

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こぼんはうすさくら川崎港町教室		
○保護者評価実施期間	令和6年11月1日		～ 令和6年11月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	66	(回答者数) 61
○従業者評価実施期間	令和6年11月1日		～ 令和6年11月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 19
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年12月27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・教室全体で比較的多くの専門職(作業療法士3人・理学療法士1人・心理担当1人)が常勤として勤めており、非常勤職員においても保育士や社会福祉士、児童指導員の有資格者が多い。	・それぞれの専門的知見や経験からカンファレンスを行うことができ、支援に活かされている。	・長く勤務できるように会社(組織)として処遇の改善や課題解決に取り組んでいる。
2	・現状は職員の入れ替わりが少なく、安定しているので、子どもたちの安心に繋がると共に、保護者からの信頼も向上している。	・職員が安定しているので児童発達支援から放課後等デイサービスへの移行もスムーズに行えている。	・同上
3	・稼働と質の両立	・稼働を一定数保ちながらも、個別の課題や対応(学習)を継続的に取り組む質と量を下げないバランスを意識している。	・質を担保し継続的な支援をすることによってさらに保護者からの信頼を上げていけると思っている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・活動スペースは基準を満たしているが広いとは言えない。職員専用のトイレがなかったり、児発には個別学習の個室がなかったり、環境が充実している教室とはいえない。		・ハード面の解決は難しいが、活動においてはバーテーションや活動場所を分ける等して導線の工夫をしている。また、近くに公園が点在しているので天気の良い日は公園で遊んでいる。
2	・今期は特に放課後等デイサービスにおいて低学年の児童が多く、児発の年長児に次年度の枠が充分確保できない。	・川崎駅前教室のオープンで支援学校の高学年が移ったため、今期多くの希望者が入ることが出来た反面、低学年が増えて来期の空きが出ない。	・近隣の教室と調整を実施。 ・自立に向けた取組みや意識を強化し、放課後を自分で過ごせる児童には卒業を促していく。
3			